

IgA血管炎急性期スコアの検証、確立に向けた多施設共同研究

当院の研究責任者	栃木医療センター小児科・感染症アレルギー科：山口 禎夫
他の研究機関および各施設の研究責任者	旭川医科大学小児科学講座：長森 恒久
本研究の目的	IgA血管炎は全身の血管に炎症を起こす病気です。ほとんどは自然に軽快しますが、一部の患者さんで強い腹部症状（腹痛、血便など）を出す事があります。また、回復期に合併する腎炎の有無がお子様の将来に最も影響を及ぼす因子となります。既にシステムは構築されましたが、さらにこのスコアの信頼性を高めるため、さらに多くのIgA血管炎の患者さんの情報を得たいと考えています。
研究期間ならびに研究対象となる期間	研究期間：許可日～2020年12月31日 研究対象期間：2017年1月1日～2020年12月31日
研究の方法 (使用する試料等)	<ul style="list-style-type: none"> ●対象患者 2017年1月1日から2020年12月31日までの期間にIgA血管炎で入院加療した18歳以下の患儿 ●利用情報 臨床情報（生年月日、症状発現日、入院日、入院時症状、肉眼的血便、便Hb、急性期治療内容、腎炎発症、腎炎治療）と入院時検査データ(WBC, Hb, Ht, 血小板, PT, PTINR, APTT, D-dimer, 凝固13因子, TP, Alb, AST, ALT, LDH, BUN, Cre, Na, K, Cl, CRP, PCT, ASO, C3, C4, Ch50, 尿検査定性, タンパク量) 腎炎発症時検査データ(WBC, Hb, Ht, 血小板, PT, PTINR, APTT, D-dimer, 凝固13因子, TP, Alb, AST, ALT, LDH, BUN, Cre, Na, K, Cl, CRP, PCT, ASO, C3, C4, Ch50 尿検査定性, タンパク量)
試料/情報の他の研究機関への提供	多施設共同研究であり、上記の他の研究機関・研究責任者へ提供する。
個人情報の取り扱い	文部科学省・厚生労働省が定めた倫理指針に則って個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行う。
本研究の資金源 (利益相反)	日本小児感染症学会研究プロジェクト助成金 開示すべき利益相反関係にある企業はありません。
お問い合わせ先	電話：028-622-5241(代) 担当者：栃木医療センター小児科・感染症アレルギー科 山口 禎夫